

再配達削減に 取り組もう!

みんなで
脱炭素アクション!

©タツボン

宅配便の現状

宅配便の
取扱個数

約50
億個

約30
億個

H22

R5

現在、宅配便の
取扱個数が年々増加しており、
再配達に伴うドライバーへの負担や
CO₂の排出増加が問題となっています。

R7年4月の
再配達率は
8.4%
だよ

出典：国土交通省HP

再配達削減アクション

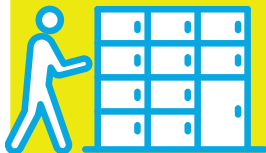
配達時間帯を
指定して
対面で受け取り



宅配BOXや
宅配バッグ、
置き配の活用



駅やスーパー等に
設置された宅配
ロッカーの利用



コンビニ・
営業所など
での受け取り



にいがた脱炭素プロジェクト **だつたんそうしょう?**

主催／新潟日報社 共催／新潟県

協力／ **SdH** | **SAGAWA**

JP 日本郵便
POST

 **ヤマト運輸** 〈50音順〉

お問合せ●新潟日報社ビジネス局 電話025-385-7432(平日午前10時～午後5時)

新潟日報社「だつたんそうしょう」WEBサイト

だつたんそうしょう



再配達削減にチャレンジしてみた人の声

日用品のネット注文が増えたので、不在の時間帯を避けて時間指定で配達依頼しています。これからは再配達の無いように気をつけたいと思いました。



再配達を防ぐことが脱炭素（二酸化炭素排出量の削減）につながるという事を初めて知りました。再配達は受け取り側で軽減可能です。今後、再配達をなくすようにしていきたいです。



自宅で待つ必要のないコンビニや事業所での受け取りは、期間内であれば都合のいい日時にいつでも受け取れて、とても便利です。



再配達を防ぐことでエコになるし、ドライバーさんの負担軽減になるので、これからも取り組みたいと思った。



※2025年2月に実施した再配達削減チャレンジ参加者のアンケートより抜粋

県内の宅配業者も、再配達削減へ取り組みを進めています

多様化するライフスタイルとともに電子商取引（EC）の急速な拡大で、宅配便の取扱個数が、年々増加しています。その一方で、宅配便の再配達率は約8.4%（国土交通省2025年4月調査）に達します。再配達の発生は、トラックの移動による二酸化炭素（CO₂）排出量の増加やドライバー不足を深刻化させます。参考：国土交通省HP「宅配便の再配達削減に向けて」

県内に事業所を展開する宅配業者は、再配達の削減を進めています。それぞれの取り組みを紹介します。



SgH | SAGAWA

web会員サービス「スマートクラブ」に登録していただくことで、受け取り日時の変更に加え、玄関前や宅配ボックスなど指定場所で受け取れる「置き配サービス」をご利用いただけます。
同社からのLINE公式アカウントには、配達予定日を知らせるサービスもあります。

佐川急便
スマートクラブについて



JP 日本郵便
POST

宅配ボックスなどへの指定場所配達をWebから申し込めるほか、「置き配」の利用拡大も進めています。さらに、「置き配バック」の利用促進にも力を入れて取り組んでいます。

日本郵便
置き配について



ヤマト運輸

ウェブ会員サービス「クロネコメンバーズ」に登録すると、受け取り日時の変更に加え、受け取り場所として、同社の営業所やスーパーなどに設置されている宅配ロッカーも選ぶことができます。さらに、2024年6月から自宅の玄関前や宅配ボックスなど指定場所で受け取れる「置き配」も始めました。

ヤマト運輸
クロネコメンバーズについて



にいがた脱炭素プロジェクト だつたんそうしょう！

新潟日報社は新潟県と共催で、新潟県が目標に掲げる2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロ（2050カーボンゼロ）を進めるため、脱炭素への意識啓発や、事業者と連携し、県民にアクションを呼びかけるキャンペーンを実施しています。
キャンペーンタイトル「だつたんそうしょう」は、オール新潟で持続可能な社会の実現を目指す「脱炭素」を理解し「そうしょう（実践しよう）」との意味を込めました。

